

独立混成中隊九旅団砲兵隊

独立混成中隊九旅団砲兵隊長 小 岡 保 五 郎

年 月 日	概 要
昭六、百、三	部隊は京都に於て中六野戦補充隊砲兵隊として編成され陸軍大尉小岡保五郎之を指揮し
二、五	門司港出帆
三、六	「シヤム」国上陸盤谷附近の警備並に教育訓練に任じたり
五、一	編成改正に依り独立混成中隊九旅団砲兵隊となり南方軍の戦斗序列に入り盤谷附近の警備並に教育訓練に任じたり
三、五	中一戦病死
三、五	「シヤム」国及「テナセリウム」地区防衛作戦参加の爲、盤谷出發鉄道及び船舶輸送により「バンボン」到着、同地附近の警備並に作戦を準備せり
三、五、九	中一中隊は陣地構築の爲、「バンボン」出發 「ニーケ」到着、同地附近に於て独立歩兵中隊六〇大隊の指揮下に入り作戦準備に任じたり
六、三〇	編成改正に依り、野戦重砲兵中隊五連隊中一中隊は部隊の隷下に入り、独立歩兵中隊六七一大隊の指揮下に入り、「タボイ」に在りて、同地附近の警備並に作戦準備に任じたり

年月日	概 要
昭三〇、七、四	<p>才三中隊福山中尉の指揮する一個小隊部隊復版と同時に軍直となり「タイ 出発盤谷に到着同地の警備に任じたり 現状の儘にて終戦に至る 歴代部隊長 陸軍少佐 小 岡 休五郎</p>

6030

(188)

0199